

超低VOCエマルジョン樹脂塗料

ハイライト#800

超低VOC

VOC放出量をほとんど
ゼロに近づけました。

優れた 隠ぺい性

高級顔料使用により、
抜群のトマリ。

低臭気

塗装中・塗装後の
臭いを抑えました。

高作業性

仕上がり・隠ぺい性に優
れ、刷毛目の目立たない、
肌ざわりのよい美しい
塗面に仕上がります。

高性能

付着性に優れ、耐水性・
耐洗浄性に優れています。

● 容量
20kg、4kg

● 用途
モルタル、コンクリート、
プラスターボード、
各種ボードなどの内・外壁面

● 色・つや
白、各色・つや消し



大日本塗料株式会社

標準塗装仕様

新設

工程	商品名	塗装回数	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	標準使用量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (20℃)	
素地ごしらえ	1. 素地を十分に乾燥させる。 2. 素地を傷つけないように、ワイヤブラシなどにより、汚れ・付着物を除去する。 ^{※1} 3. 釘頭・たたき跡・傷などを埋め、不陸をパテかきによって調整する。 4. パテ乾燥後、研磨紙(P120~220)を用いて表面を平らにする。						
下塗り	モルタル コンクリート プasterボード 各種ボード	水性マイティーシーラーマルチ	1	うすめないで使用	刷毛 ローラー	0.11	2時間以上
	けい酸カルシウム板	マイティー万能水性シーラー クリヤー	1~2 ^{※2}	0~10	刷毛 ローラー	0.10~0.12	4時間以上
上塗り	ハイライト#800	2	5~10	刷毛 ローラー	0.12	2時間以上	

※1 新設モルタルの場合、セメントのノロなどを注意して取り除いて下さい。
 ※2 吸い込みが著しい素材の場合は、下塗りを2回塗装して下さい。
 ※「水性マイティーシーラーマルチ」の他、「マイティーシーラーE 白」も使用可能です。

塗り替え

工程	商品名	塗装回数	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	標準使用量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (20℃)
下地調整	1. ディスクサンダー・スクレーパーなどにより、劣化および脆弱な部分を除去する。 2. 素地を傷つけないように、ワイヤブラシなどにより、汚れ・付着物を除去する。 3. 釘頭・たたき跡・傷などを埋め、不陸をパテかきによって調整する。 4. パテ乾燥後、研磨紙(P120~220)を用いて表面を平らにする。					
下塗り ^{※1}	水性マイティーシーラーマルチ	1	うすめないで使用	刷毛 ローラー	0.11	2時間以上
	マイティー万能水性シーラー 白	1~2	0~10	刷毛 ローラー	0.10~0.12	4時間以上
上塗り	ハイライト#800	2	5~10	刷毛 ローラー	0.12	2時間以上

※1 シミやヤニが目立つ場所は「水性マイティーシミ止めシーラー」をご使用下さい。
 また、「マイティーシーラーE 白」も使用可能です。

【施工上の注意】

【素地ごしらえ・下地調整に関する注意】

- 新設のコンクリートやモルタル面の養生は十分に行って下さい。含水率10%以下、pH10以下で塗装して下さい。(コンクリートで20日以上、モルタルで15日以上経過が目安です。)
- 油污れが著しい場合は、はがれ・割れの原因になることがありますので、中性洗剤などで十分に油分を除去してから塗装して下さい。
- たばこのヤニやシミの多い箇所は、予めウエスなどで水拭きし、被塗面を十分乾燥させてから「水性マイティーシミ止めシーラー」を塗装して下さい。
- 水性パテは、一般に耐水性が良くないため、外部や水たまり部には使用しないで下さい。その部分からはく離する傾向があります。
- エマルジョン塗料以外の旧塗膜面へ塗装する場合は、事前に付着性を確認して下さい。
- 旧塗膜に藻・かびがある場合は、予め5%の次亜塩素酸ソーダ水で殺菌処理後、水洗いを行い十分被塗面を乾燥させて下さい。付着不良の原因となる場合があります。
- 旧塗膜がツヤ有り仕上げの場合、条件によっては割れが発生するおそれがありますので、予め試し塗りなどで確かめて下さい。

【塗装に関する注意】

- 水系塗料においてウエスなどで強く擦ると、色が付着する場合がありますので、強く擦られるおそれがある場所への塗装は、できるだけ避けて下さい。
- 常時結露または水がかかることが予想される場所・部位への塗装は避けて下さい。
- 飛散防止のため養生は十分に行って下さい。
- 塗料は使用前に十分攪拌し、均一な状態にしてから塗装して下さい。
- 調色はマイティーカラーゼロVOCまたはマイティーカラー水を3%以内でご使用下さい。
- 水道水で希釈して下さい。また、希釈し過ぎないようにご注意ください。希釈し過ぎた場合、タレや隠れない不良、仕上がりが不良の原因になります。
- 塗装方法として刷毛とローラーが混在する場合は、塗付け量・仕上がりが異なり、若干の色相差がでますので、刷毛塗りの部分は希釈を少なめで塗装して下さい。

8. 塗装場所での気温が5℃以下、湿度85%以上で結露のおそれがある場所、また換気の悪い場所での塗装は避けて下さい。
9. 降雨・降雪・結露のおそれがある場合は、塗装を避けて下さい。
10. 塗装後1日以内に雨や結露などの影響を受けると、白化・シミが残ることがあります。万が一発生した場合は、塗り重ねて下さい。
11. 著しい結露が発生した場合、塗料中の水溶性成分が溶出することがあります。著しい結露が予測される場合は、溶剤系塗料での塗装を推奨します。
12. 塗膜性能を十分に発揮するためにも、塗付け量を守って下さい。
13. 塗装終了後、刷毛などの用具は早めに洗って下さい。固着した場合はラッカーシンナーで洗浄して下さい。
14. 汚れや傷などで補修塗装が必要になる場合がありますので、使用塗料と塗装方法の控えを必ずとり、同一塗料、同一方法で補修塗装をして下さい。
15. 塗装面に物を長時間置く場合、塗膜が付着する場合がありますのでご注意ください。

【保存・保管に関する注意】

- 適切な保存方法では引火の心配はありませんが、極端な高温(50℃以上)の環境での保管は避けて下さい。
- 凍結により変質するおそれがありますので、低温(0℃以下)での保管は避けて下さい。
- 屋外での塗料の貯蔵はしないで下さい。また、直射日光が当たらない場所で貯蔵して下さい。

【製品の情報について】

- 安全衛生、法規についての情報が必要な場合には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。
- 規格表示、膜厚、乾燥時間、塗装間隔などの製品情報が必要な場合には、単品説明書(DK SYSTEM)をご参照下さい。

【使用上の注意】

取扱いには下記の注意事項を守って下さい。
 ※詳細な内容が必要な時には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。

●取扱上の注意

- 取扱後は、手洗い及びうがいを十分に行って下さい。
- よくフタをし、一定の場所に貯蔵して下さい。
- 子供の手の届かないところに保管して下さい。
- 捨てる時は、産業廃棄物として処分して下さい。
- 容器は垂直に持ち上げて下さい。斜めに持ち上げると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。

●緊急時の処置

- 目に入った時には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ時には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 容器からこぼれた時には、砂等を散布したのち処理して下さい。

①

※本チラシに記載以外の条件で使用される場合は、弊社にお問い合わせ下さい。

※本製品の内容は予告なく変更することがあります。

※本チラシに記載の内容について、無断転載・複製を禁じます。

DNT 大日本塗料株式会社

- 大阪営業所 ☎06-6266-3116 ☎542-0081 大阪市中央区南船場1-18-11 (SRビル長堀)
- 東京営業所 ☎03-5710-4501 ☎144-0052 東京都大田区蒲田5-13-23 (TOKYU REIT 蒲田ビル)
- 札幌営業所 ☎011-822-1661 ☎003-0012 札幌市白石区中央二条1-5-1
- 仙台営業所 ☎022-288-8866 ☎984-0011 仙台市若林区六丁の目西町8-1 (斎喜センタービル)
- 名古屋営業所 ☎052-332-1701 ☎460-0022 名古屋市中区金山1-12-14 (金山総合ビル)
- 広島営業所 ☎082-286-2811 ☎732-0802 広島市南区大州3-4-1
- 福岡営業所 ☎092-938-8222 ☎811-2317 福岡県糟屋郡粕屋町長者原東3-10-5

塗料相談室 フリーコール 0120-98-1716 <https://www.dnt.co.jp/>